

平成 23 年 1 月 18 日
消 費 者 庁

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 4 件
(うち密閉式 (B F 式) ガスふろがま (L P ガス用) 1 件、
石油温風暖房機 (開放式) 2 件、
屋外式 (R F 式) ガス給湯付ふろがま (L P ガス用) 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 8 件
(うちルーター (パソコン周辺機器) 1 件、
電気ストーブ (ハロゲンヒーター) 1 件、電気冷蔵庫 2 件、冷水筒 1 件、
除雪機 (歩行型) 1 件、自転車用幼児座席 1 件、
電気ストーブ (カーボンヒーター) 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 5 件
(うちエアコン 1 件、コンセント 1 件、
電気ストーブ (カーボンヒーター) 1 件、ガス抜き器 (エアゾール缶用) 1 件、
電気カーペット 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者
委員会合同会議 (※) において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者委員会消費者安全専門調査会製品事故情報の公表等に関する調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進

展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 沖電気工業株式会社が製造し、東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社が提供しているルーターについて（管理番号A201000462）

① 事故事象及び再発防止策について

沖電気工業株式会社が製造し、東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社が提供しているルーターにおいて、当該製品から出火し、周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ではありますが、事故の状況から当該製品内部の回路において異常電流が生じ、電気部品の発熱が継続し、最終的に出火に至ったものと考えられます。

平成22年11月14日にも、当該製品が焼損する事故が1件発生しており（非火災扱い）、いずれも人的被害は生じておりません。

沖電気工業株式会社、東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社は、1月17日、報道発表を行い、1月21日より使用者へダイレクトメールを送付して告知するとともに、1月24日より、当該製品のACアダプターを回収し、異常電流を防止するためのヒューズを内蔵したACアダプターとの無償交換を実施し、異常電流が当該製品に生じないよう対策を講じることとしました。

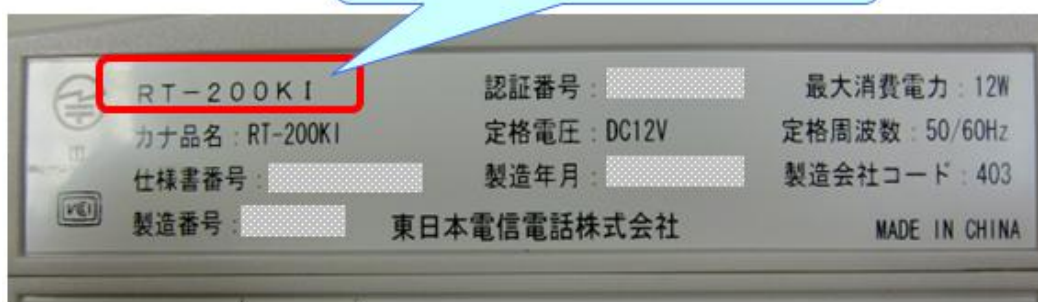
② 対象製品等：対象製品名、機種、提供期間、改修対象台数

対象製品名	機種	提供期間	改修対象台数
ひかり電話ルーター (NTT東日本 ：フレッツ光)	RT-200KI	平成17年11月 ～ 平成22年11月	約429,000台
ひかり電話ルーター (NTT西日本 ：Bフレッツ マンションタイプ)		平成17年11月 ～ 平成22年12月	約2,000台
合 計			約431,000台

対象製品の確認方法：



商品名が「RT-200KI」の場合、
対象機器になります。



ACアダプター（交換対象）

③事業者の告知

- ・ 記者発表及びプレスリリース：1月17日（月）
- ・ ホームページへの情報掲載：1月17日（月）
- ・ ダイレクトメールの発送：1月21日（金）から順次

④消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちの方は、再発防止のため、事業者からダイレクトメール等の連絡が届きますので、製品交換に応じていただきますようお願いいたします。事業者への問い合わせ先は、下記のとおりです。

(東日本電信電話株式会社エリアの方の問い合わせ窓口)

フリーダイヤル：0120-101-336

※IP電話の方は03-5960-7099

受付時間：午前9時から午後9時まで（土、日、祝日を含む。）

ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/>

(西日本電信電話株式会社エリアの方の問い合わせ窓口)

フリーダイヤル：0120-303-144

※IP電話の方は03-5960-7180

受付時間：午前9時から午後9時まで（土、日、祝日を含む。）

ホームページ：<http://www.ntt-west.co.jp/>

(沖電気工業株式会社 問い合わせ窓口)

フリーダイヤル：0120-216-600

受付時間：午前9時から午後6時まで（土、日、祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.oki.com/jp/>

(2) シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫について（管理番号A201000827）

①事故事象及び再発防止策について

シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫において、当該製品の機械室内の電気部品が焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

当該製品を含む対象機種（下記）については、当該製品の扉を閉める際に、冷蔵室と冷蔵室扉の間に庫内の物が挟まった状態で扉を開閉することによりドアカム（ドアの開閉を補助する部品）とヒンジ（ドアを保持する部品）が干渉し、衝撃が加わり、この状態が繰り返されたことによりドアカムの一部が破損して扉が外れる事故が発生しており、同社は、事故の再発防止を図るため、平成22年1月26日、プレスリリースを行うとともに、ホームページへの掲載等により使用者に周知し、対象製品について無償で点検・部品（ドアカム及びヒンジ）交換を実施しています。

なお、当該事故事象は、上記の無償点検・部品交換の対策を要する事故事象（扉が外れる事故）とは異なるものですが、事故品は上記の無償点検・部品交換が未実施でした。

②対象製品等：対象機種、製造期間、対象台数

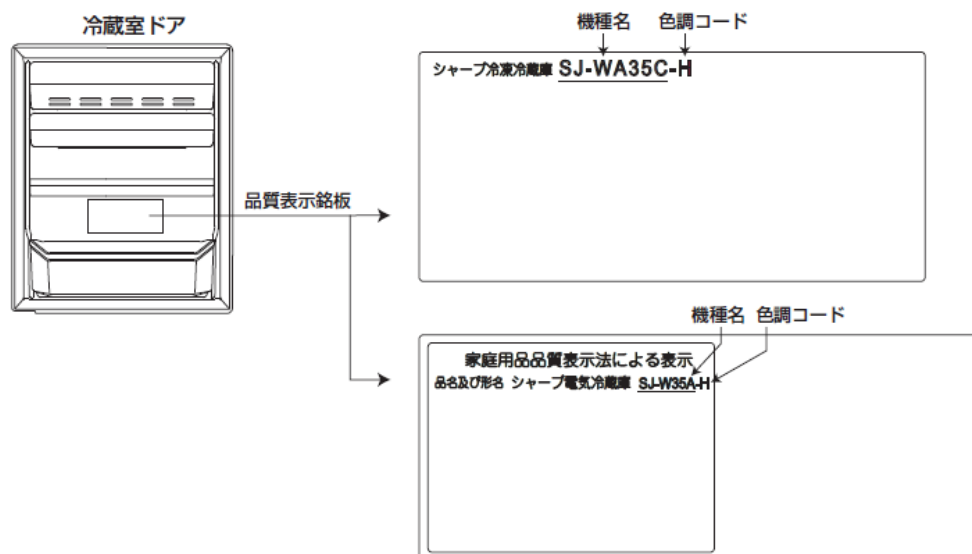
対象機種	製造期間	対象台数	対象機種	製造期間	対象台数
SJ-350JB-H	1997/12～1998/3	15,600台	SJ-W358D-G/H	1998/2～1998/11	6,500台
SJ-380JB-H	1997/12～1999/2	6,300台	SJ-W359D-C/H	1998/12～2000/3	10,200台
SJ-429EX-H	1999/3～1999/11	8,000台	SJ-W35A-G/H	1996/12～1997/11	73,380台
SJ-440JB-H	1997/12～1998/4	1,900台	SJ-W35B-G/H	1997/10～1998/11	74,920台
SJ-489EX-H	1999/2～1999/12	10,050台	SJ-W429E-H	1999/3～1999/10	1,800台
SJ-E35KC-H	1998/11～2000/3	26,300台	SJ-W45CD-H	2000/4～2001/3	15,000台
SJ-E410JB	1998/4～1999/1	7,800台	SJ-W489E-H	1999/3～1999/11	1,100台
SJ-E42KC-H	1999/3～1999/12	10,600台	SJ-WA35C-C/H	1998/10～2000/3	130,672台

SJ-E48KC-H	1999/3～1999/10	7,200台	SJ-WA38C-H/P	1999/4～2001/8	49,520台
SJ-EX357-H	1997/3～1998/2	20,300台	SJ-WA41B-G/H	1998/3～1999/1	45,565台
SJ-EX418-H	1998/3～1999/1	10,700台	SJ-WA42C-C/H	1999/2～1999/12	43,410台
SJ-EX447-H	1997/2～1998/1	29,700台	SJ-WA48B-G/H	1998/2～1998/12	32,800台
SJ-EX488-H	1998/2～1998/12	16,500台	SJ-WA48C-C/H	1999/2～2000/1	21,100台
SJ-LA410-H	1998/4～1999/1	8,300台	SJ-WD38C-H	2000/4～2001/7	7,700台
SJ-LA429-H	1999/3～1999/12	8,800台	SJ-WE38A-G/H	1997/2～1997/12	68,245台
SJ-LA480-H	1998/4～1998/12	4,100台	SJ-WE38B-G/H	1997/11～1999/2	47,220台
SJ-LA489-H	1999/3～2000/1	5,600台	SJ-WE44A-G/H	1997/1～1997/10	54,300台
SJ-R35C	1999/8～2000/12	1,510台	SJ-WE44B-G/H	1997/10～1999/12	48,520台
SJ-V35WB-H	1998/3～1998/9	3,400台	SJ-WH350-C	1997/3～1997/11	8,400台
SJ-V35WC-H	1999/4～2000/3	4,500台	SJ-WH380-C	1997/3～1997/11	7,900台
SJ-V38WB-H	1998/3～1999/2	2,800台	SJ-WJ440-H	1997/2～1997/12	4,300台
SJ-V42WC-H	1999/4～1999/11	2,400台	SJ-WS350-H	1997/3～1997/8	1,700台
SJ-V44WB-H	1998/4～1998/12	1,500台	SJ-WX42C-A/V/G	1999/3～1999/6	3,000台
SJ-V48WC-H	1999/4～1999/11	1,500台	SJ-WX48C-A/V/G	1999/3～1999/7	2,100台
計					974,712台

改修対象台数 974,712台

改修率 11.6%（平成22年12月31日現在）

対象製品の確認方法：



③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償改修を受けていない方は、下記問い合わせ先に速やかに御連絡ください。

（シャープ株式会社の問い合わせ先）

フリーダイヤル：0120-404-511

受付時間：9時～18時（月～土曜日）

9時～17時（日曜・祝日）

ホームページ：<http://www.sharp.co.jp/>

(3) アスベル株式会社が製造した冷水筒について（管理番号A201000828）

①事象事象及び再発防止策について

アスベル株式会社が製造した密閉されるアクリル製冷水筒において、当該製品に沸騰させた熱湯を入れたところ、異音とともに当該製品が破裂し熱湯がかかり、火傷を負う事故が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品については、熱湯を入れ、冷めないうちにフタを閉めたために、容器の内圧が高くなる状態となり、容器を持ち上げた際等に持ち手部分にかかる加重や製品の重量に耐えきれずに製品が変形、破損し、熱湯が体にかかり火傷を負う事故が発生しています。（本件を含む重大製品事故3件、非重大製品事故2件）。

当該製品は、熱湯を入れることが可能（「熱湯OK」）と表記されていることから、熱湯を入れて、冷めないうちにフタを閉め使用することが可能であると使用者に誤解を与える恐れがあり、同社は、事故の再発防止を図るため、熱湯を入れた際の使用方法によっては変形や破損に至る危険性があることを平成20年11月14日からホームページに掲載し、注意喚起を行うとともに、平成21年1月より製品本体表示及び取扱説明書の改善を実施しています。

②業界の対応

日本プラスチック日用品工業組合では、平成20年11月17日にホームページにおいて、プラスチック製品及び冷水筒の使用上の注意を掲載し、注意喚起を行うとともに、平成20年12月15日には、「密閉されるアクリル製冷水筒」を製造・販売する組合員企業において、製品の材質や表示全般等について適正な表示に取り組むよう注意喚起を行うことにより同様の事故の再発防止に努める旨発表を行っています。

（日本プラスチック日用品工業組合）

ホームページ：http://www.jpm.or.jp/fromtheid/index_5.html

③消費者への注意喚起

消費者の皆様におかれては、当該製品を含む同様の製品を使用する際の事故を防止するために、取扱説明書、製造事業者のホームページ等に記載されている注意事項を御確認いただき、製品に関する使用方法を正しく認識し、御使用ください。

特に、密閉するタイプの容器については、取扱い方法をもう一度御確認いただき、熱湯を入れてすぐにフタをしないようにしてください。

（アスベル株式会社の問い合わせ先）

ホームページ：<http://www.asvel.co.jp/information.html>

(4) ヤナセ産業機器販売株式会社が製造した除雪機（歩行型）について

（管理番号A201000832）

①事象事象及び再発防止策について

ヤナセ産業機器販売株式会社が製造した除雪機（歩行型）において、当該製品のエンジン部カバーから出火し、当該製品が焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品を含む対象機種（下記）については、始動性を高めるためのプライマーボタン（キャブレターに空気を入れ、ガソリンを通常より多めに送り込むためのボタン）の使用過多が原因で、キャブレターから出火する事故が発生しています。

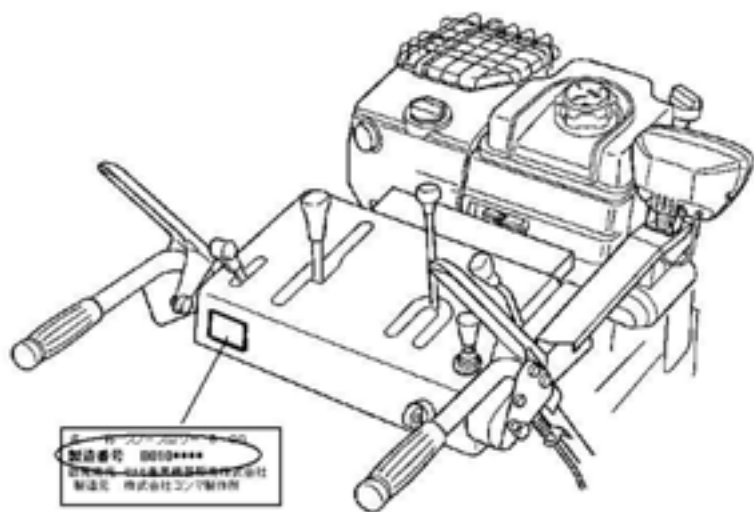
同社は、事故の再発防止を図るため、平成１９年１１月６日、ホームページへの掲載により使用者に周知し、対象製品の無償修理について呼び掛けています。

②対象製品等：機種、製造番号、製造年度及び改修対象台数

機種	製造番号	製造年度	改修対象台数
８８ＨＳＴ	８４３０００１～	２００２	９００
	８４３１００１～	２００３	６９０
８１０ＨＳＴ	８５２０００１～	２００２	８４０
	８５２１００１～	２００３	２１０
８１３ＨＳＴＲ	８６３０００１～	２００２	１９５
	８６４０００１～	２００３	１９８
８－９Ｇ	Ｂ０１００００１～	２００４	６７０
	Ｂ００５０００１～	２００５	７６０
	ＢＭ０６０００１～	２００６	７４０
８－１１Ｇ	Ｅ０１００００１～	２００４	３８４
	Ｅ００５０００１～	２００５	５００
	ＥＭ０６０００１～	２００６	６４０
８－１３Ｇ	Ｆ０１００００１～	２００４	１４５
	Ｆ００５０００１～	２００５	５０
合 計			６，９２２

改修対象台数 ６，９２２台
改修率 ７９．９％（平成２２年３月３０日現在）

対象製品の確認方法：製造番号の刻印場所



③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償修理を受けていない方は、下記問い合わせ先に速やかに御連絡ください。

（ヤナセ産業機器販売株式会社の問い合わせ先）
フリーダイヤル：０１２０－０１４－０１８

受付時間：9時～18時（平日）

ホームページ：<http://www.yanase-sanki.co.jp/snow/071106.html>

(5) ブリヂストンサイクル株式会社が輸入した金属製の自転車用幼児座席について
(管理番号A201000836)

①事象及び再発防止策について

ブリヂストンサイクル株式会社が輸入した金属製の自転車用幼児座席において、幼児を当該製品に乗せて自転車で走行中、足乗せ部分が折損し、幼児の足が車輪に巻き込まれ、負傷する事故が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品を含む型式（下記）については、使用中に繰り返される負荷により足乗せ部の支柱が破損し、幼児の足が車輪に巻き込まれ、負傷する事故が発生しています。

同社は、事故の再発防止のため、12製品について、平成22年9月21日にホームページへ掲載するとともに、平成22年9月22日に新聞社告を掲載し、その後も継続して、事業者のオンライン登録者へのメール発出、子育て中の女性向けウェブサイトへの広告の掲載、育児雑誌に広告を掲載し、樹脂製の製品と無償交換を呼び掛けています。

②対象製品等：製品名、商品名、モデル名及び交換対象台数

(詳細は別添参照)

製品名：自転車用後席幼児用座席（リヤチャイルドシート）

商品名：①	NEWロイヤルチャイルドシート	RCSNRX. A	88,765台
②	ロイヤルチャイルドシートSTD	RCS-SRT	1,845台
③	NEWデラックスチャイルドシート	RCS-MH. A	13,582台
④	ロイヤルチャイルドシート	RCS-NAS	55,324台
⑤	ロイヤルチャイルドシート	RCS-SDX	171,150台
⑥	NEWロイヤルチャイルドシート	RCS-NRX	61,163台
⑦	デラックスチャイルドシート	RCS-MHBC	132,596台
⑧	デラックスチャイルドシート	RCS-MHB	6,031台
⑨	リヤ子供乗せ	RCS-MSG	13,480台
⑩	リヤ子供乗せ	KNR-69SG	23,172台
⑪	子ざぶとん専用チャイルドシート	RCS-K	687台
⑫	リヤチャイルドシート(ヤマハ発動機ブランド)	Q5K-YSK-051	1,728台
合 計			569,523台

回収対象台数 569,523台

回収率 13.7%（平成23年1月17日現在）

③消費者への注意喚起

上記リコール対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う無償交換を受けていない方は、下記問い合わせ先に速やかに御連絡ください。

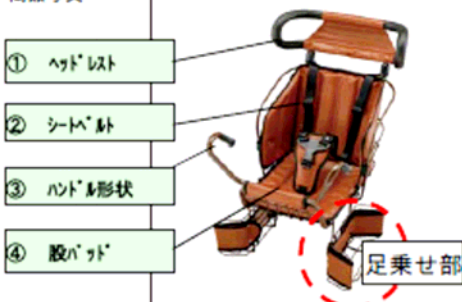
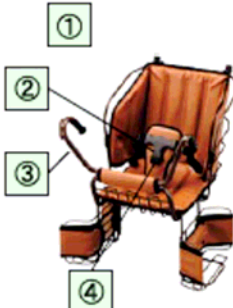
(ブリヂストンサイクル株式会社の問い合わせ先)

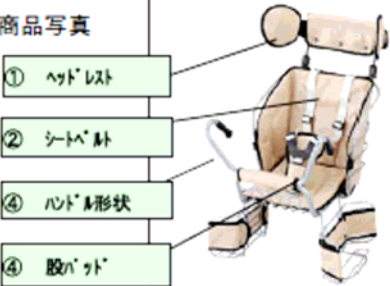
フリーダイヤル：0120-22-0355

受付時間：9時～17時（土、日、祝日と事業者特定休日を除く。）

ホームページ：<http://www.bscycle.co.jp>

対象製品の詳細

商品名	NEW ロイヤル チャイルドシート	ロイヤルチャイルド シート STD	NEW デラックス チャイルドシート
モデル名	RCSNRX. A	RCS-SRT	RCS-MH. A
商品写真			
※識別ポイント	①ヘッドレスト形状 ②シートベルト ③ハンドル形状 ④股パッド	①ヘッドレスト無し ②T型シートベルト ③アップハンドル型 ④股パッドあり	①長方形 ②T型シートベルト ③一文字型 ④股パッドあり
販売期間	2007年11月～ 2010年5月	2008年5月～ 2010年6月	2008年3月～ 2010年6月
対象台数	88,765 個	1,845 個	13,582 個

商品名	ロイヤル チャイルドシート	ロイヤル チャイルドシート	NEW ロイヤル チャイルドシート
モデル名	RCS-NAS	RCS-SDX	RCS-NRX
商品写真			
※識別ポイント	①左右丸型 ②Y型シートベルト ③アップハンドル型 ④股パッドあり	①中央が凹んでいる ②X型シートベルト ③アップハンドル型 ④股パッド無し	①楕円形(中央に布) ②X型シートベルト ③アップハンドル型 ④股パッド無し
販売期間	2009年6月～ 2010年9月	2002年9月～ 2008年9月	2007年1月～ 2009年9月
対象台数	55,324 個	171,150 個	61,163 個

商品名	デラックス チャイルドシート	デラックス チャイルドシート	リヤ子供乗せ
モデル名	RCS-MHBC	RCS-MHB	RCS-MSG
商品写真	① ヘッドレスト ② シートベルト ③ ハンドル形状 ④ 股パッド ⑤ 股パッド ※識別ポイント ①ヘッドレスト形状 ②シートベルト ③ハンドル形状 ④股パッド ※その他(クッション柄)	① 長方形 ② X型シートベルト ③ 一文字型ハンドル ④ 股パッド無し ※動物(犬)柄クッション	① ヘッドレスト無し ② 2点式腰ベルト ③ 一文字型ハンドル ④ 股パッドなし ※シルバー色クッション BRIDGESTONE ロゴあり
販売期間	2000年2月～ 2009年11月	2000年2月～ 2008年3月	2000年3月～ 2009年8月
対象台数	132,596 個	6,031 個	13,480 個

商品名	リヤ子供乗せ	子ざぶとん専用 チャイルドシート	ヤマハ発動機ブランド リヤチャイルドシート (RCS-NAS と同型式)
モデル名	KNR-69SG	RCS-K	Q5K-YSK-051
商品写真	① ヘッドレスト ② シートベルト ③ ハンドル形状 ④ 股パッド ※識別ポイント ①ヘッドレスト形状 ②シートベルト ③ハンドル形状 ④股パッド ※その他 ※動物(猫)柄クッション	① 長方形 ② X型シートベルト ③ 一文字型ハンドル ④ 股パッド無し ※クッション別売り	※背面に YAMAHA ロゴあり ① 左右丸型 ② Y型シートベルト ③ アップハンドル型 ④ 股パッドあり ※背面に YAMAHA ロゴ
販売期間	1995年4月～ 2006年4月	2003年4月～ 2007年10月	2009年7月～ 2010年9月
対象台数	23,172 個	687 個	1,728 個

(本発表資料の問い合わせ先)

消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当) 担当：中嶋、服部、榎本
電話：03-3507-9204 (直通)

(事故情報対応チーム) 担当：金児、滝
電話：03-3507-9146 (直通)

(沖電気工業株式会社が製造し、東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社が提供しているルーターについての発表資料に関する問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、吉津、山崎 電話：03-3501-1707 (直通)

(シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫についての発表資料に関する問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、野中 電話：03-3501-1707 (直通)

(アスベル株式会社が製造した冷水筒についての発表資料に関する問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、中村、野中 電話：03-3501-1707 (直通)

(ヤナセ産業機器販売株式会社が製造した除雪機(歩行型)についての発表資料に関する問い合わせ先)

(ブリヂストンサイクル株式会社が輸入した金属製の自転車用幼児座席についての発表資料に関する問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、中村 電話：03-3501-1707 (直通)

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201000831	平成23年1月2日	平成23年1月13日	密閉式(BF式)ガス ふろがま(LPガス 用)	GF-70B2(ナシヨ ナルブランド)	株式会社タイヘイ(ナ シヨナルブランド)	火災	当該製品のスイッチを入れ、数分後に当該製 品を確認したところ、当該製品が焼損する火 災が発生していた。現在、原因を調査中。	奈良県	
A201000839	平成23年1月5日	平成23年1月14日	石油温風暖房機 (開放式)	KD-305C	三菱電機株式会社	火災	当該製品の温風吹き出し口の前方約50cmに 可燃物(凍結した剥離剤が入ったポリ容器)を 置いて、当該製品を燃焼運転にしたまま、そ の場を離れていたが、異常に気付き確認する と、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生 していた。当該製品から出火したのか、他の 要因も含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201000840	平成23年1月12日	平成23年1月14日	屋外式(RF式)ガス 給湯付ふろがま (LPガス用)	GT-162AR	株式会社ノーリツ	火災	当該製品で給湯中、お湯が冷たくなり、また 煙に気付いたことから確認すると、火災が発 生しており、建物が半焼した。当該製品から 出火したのか、他の要因も含め、現在、原 因を調査中。	兵庫県	
A201000841	平成23年1月2日	平成23年1月14日	石油温風暖房機 (開放式)	FW-6050LD	ダイニチ工業株式会 社	火災	当該製品を燃焼運転させたまま、カートリッジ タンクを取り出して給油後、当該製品に挿入し た際、ふたが外れ、灯油がこぼれ引火し、当 該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 当該製品を燃焼運転中に給油作業を行い、 当該製品のカートリッジタンクのふたの締め 付けが不十分であった状況も含め、現在、原 因を調査中。	岐阜県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201000462	平成22年8月18日	平成22年8月30日	ルーター(パソコン周辺機器)	RT-200KI	沖電気工業株式会社	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故原因は、継続して調査中であるが、当該製品内部の回路において異常電流が生じ、電気部品の発熱が継続し、最終的に出火に至ったものと考えられる。	長野県	平成22年9月3日に製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの 平成23年1月24日より当該製品のACアダプターを回収し、異常電流を防止するACアダプターとの無償交換を実施
A201000826	平成23年1月6日	平成23年1月13日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	SHE-142GSAH(FG)	ミカタ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品のネック部分(支柱上部)から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。現在、原因を調査中。	福岡県	
A201000827	平成23年1月2日	平成23年1月13日	電気冷蔵庫	SJ-WA35C-H	シャープ株式会社	火災	当該製品の内部部品が焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	千葉県	当該事故事象は、無償点検・部品交換(平成22年1月26日からリコールを実施)の対策を要する事故事象(扉が外れる事故)とは異なるもの。 扉が外れる事故の対策については、改修率11.6%
A201000828	平成22年12月28日	平成23年1月13日	冷水筒	D222	アスベル株式会社	重傷1名	当該製品に沸騰させた熱湯を入れたところ、異音とともに当該製品が破裂し、熱湯がかかり、火傷を負った。現在、原因を調査中。	千葉県	平成20年11月14日から注意喚起、平成21年1月から製品本体表示及び取扱説明書の改善を実施

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201000829	平成23年1月9日	平成23年1月13日	電気冷蔵庫	SR-26A	三洋電機株式会社	火災	留守中の店舗内で、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。現在、原因を調査中。	大阪府	
A201000832	平成23年1月8日	平成23年1月14日	除雪機(歩行型)	88HST	ヤナセ産業機器販売株式会社	火災	当該製品を暖機運転中、その場を離れていたところ、エンジン音が停止したため確認すると、当該製品エンジン部カバーから出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。現在、原因を調査中。	山形県	平成19年11月6日からリコールを実施 改修率 79.9%
A201000836	平成22年12月3日	平成23年1月14日	自転車用幼児座席	KNR-69SG	ブリヂストンサイクル株式会社 (輸入事業者)	重傷1名	幼児(2歳男児)を当該製品に乗せて自転車で走行中、左側足乗せ部分が折損し、幼児の足が車輪に巻き込まれ、負傷した。現在、原因を調査中。	愛媛県	事業者が事故を認識したのは、1月6日 平成22年9月21日からリコールを実施 回収率 13.7%
A201000837	平成22年12月21日	平成23年1月14日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	TSK-5303Q	燦坤日本電器株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品のスイッチを入れ、その場を離れていたところ、火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。現在、原因を調査中。	福井県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201000830	平成23年1月5日	平成23年1月13日	エアコン	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	京都府	
A201000833	平成22年12月16日	平成23年1月14日	コンセント	火災	発煙と異臭に気付き確認すると、当該製品から発煙する火災が発生しており、当該製品が焼損した。施工不良(当該製品の端子部の不完全接触)により異常発熱した可能性も含め、現在、原因を調査中。	大阪府	製造から35年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは、1月7日
A201000834	平成22年12月30日	平成23年1月14日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	福岡県	
A201000835	平成22年12月21日	平成23年1月14日	ガス抜き器(エアゾール缶用)	火災 軽傷1名	洗面台付近で、当該製品を用いてエアゾール缶の穴開け作業を行っていたところ、火災が発生し、周辺が焼損、1名が火傷を負った。穴開け作業中にエアゾール缶から噴出したガスに引火した可能性も含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201000838	平成23年1月6日	平成23年1月14日	電気カーペット	火災 軽傷1名	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	

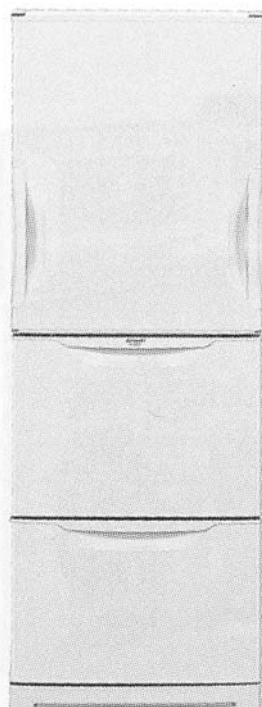
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし

ルーター（パソコン周辺機器）（管理番号：A201000462）



電気冷蔵庫（管理番号：A201000827）



冷水筒（管理番号：A201000828）



電気冷蔵庫（管理番号：A201000829）



除雪機（歩行型）（管理番号：A201000832）



自転車用幼児座席（管理番号：A201000836）



電気ストーブ（カーボンヒーター）（管理番号：A201000837）

